

平成23年度計画

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

1 診療計画及び診療に関する重点事項

(1) 診療計画

平成23年度は、第1期中期計画の最終年となることから、診療計画についても中期計画で予定していた内容について再点検し、総仕上げを行うことになる。

平成22年度に増築・改修工事が完成した日本海総合病院は、地域の中核病院として急性期医療の充実に努めるとともに、日本海総合病院酒田医療センター（以下「酒田医療センター」という。）においては、療養病床等の施設整備を本格化し、増築・改修工事が着手されることになる。

日本海総合病院では、4月1日に「救命救急センター」を開設し、これまで空白地域であった庄内地域、最上地域の一部を範囲とする3次救急医療体制を強化することに伴い人員体制等に万全を期すとともに、その運営体制についても十分配慮する。

酒田医療センターにおいては、平成22年度中に日本海総合病院への診療科の移行が行われ、療養病床への転換が行われたが、地域課題である回復期リハビリテーションへの取り組み、デイケアへの取り組みなどを実行するため、増築・改修に取り掛かり地域の医療機能の向上を着実に推進するものとする。

①日本海総合病院の体制

日本海総合病院の機能

規 模	646床
診 療 科 (25科)	内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科
施 設 基 準	一般病棟
併設診療機能	救命救急センター、屋上ヘリポート設置
特殊診療機能	ICU（集中治療室）、HCU（準集中治療室） 未熟児室 感染症病床 放射線治療 外来がん化学療法 セカンドオピニオン外来 緩和ケア 人工透析（急性期） 人間ドック 地域医療室（地域連携・在宅療養支援など）
救急外来機能	診療科全般
そ の 他	病院間移動用ワゴン車、院内保育所

②酒田医療センターの体制

平成23年度は、療養病床としての機能拡充のための増築・改修工事に取り掛かることになる。平成24年度の施設整備完了までは暫定的に西棟を療養病棟として活用する。

酒田医療センターの機能

規 模	114床
診 療 科 (2科)	内科、リハビリテーション科
施 設 基 準	療養病棟
特殊診療機能	地域医療室（地域連携・在宅療養支援など）
そ の 他	病院間移動用ワゴン車

(2) 診療に関する重点事項

①診療体制の整備

医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、平成23年度において、次のとおり診療部門の充実及び見直しを行う。

a) 救急医療

- ・ 日本海総合病院救命救急センターの開設（4月）
- ・ 日本海総合病院における酒田地区医師会医師の協力による小児救急外来に対する診療支援の継続と新たに酒田市の財政支援のもと、酒田地区医師会との協議に基づき地区医師会医師の協力による平日夜間の救急外来における成人系の救急外来に対する診療支援の拡大実施（4月から）
- ・ 酒田地区広域行政組合の救急ワークステーション「酒田救急ワークステーション」の開設（4月）

b) がん医療

- ・ 地域がん診療連携拠点病院として、がん登録機能、相談支援体制の充実
- ・ PET/CTの新設のための増築工事の開始
- ・ 外来がん化学療法の実施
- ・ 緩和ケア医療の実施
- ・ セカンドオピニオン外来の実施

c) 脳卒中・急性心筋梗塞

- ・ 専門的医療やCT・MRI検査の24時間対応
- ・ 急性期リハビリテーションの実施

d) 糖尿病

- ・ チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた教育入院等の集中的治療の実施

e) 在宅医療支援及び療養支援

- ・ 地域の介護機関・福祉機関・医療機関との連携を強化するための窓口・相談機能の充実

f) その他

- ・ 2病院間で診療科の移行が完了するまでの間、複数診療科を受診する患者の利便性確保のため運行してきた患者移動用ワゴン車「げんき号」については、引き続き酒田医療センターの療養病床への患者移行も行われること等を考慮して、平成23年度は継続して運行する。ただし、運行回数等は再検討をする。

②災害時における協力

- ・ 災害時には、災害拠点病院として患者を受け入れるとともに、県の要請に基づき、又は自ら必要と認めたときは、DMAT（災害派遣医療チーム）等、医療スタッフを現地に派遣して医療救護活動を実施する。
- ・ 災害発生時に備え、地域の医療機関、医師会、自治体等が参加する災害医療訓練に年1回以上参加するとともに、地域の医療従事者を対象とした災害医療研修を実施する。

③政策医療の実施

- ・ がん・脳卒中・糖尿病・小児医療・周産期医療などの高度専門医療についても、民間の医療機関では導入が困難な技術、先進的な技術を先駆けて導入するなど、地域の中核的医療機関としての役割を果たしていく。
- ・ これまで酒田医療センターにおいて運営してきた老人性認知症センターについては、日本海総合病院に診療科が移行したことに伴い、「認知症疾患医療センター」として新たに開設し、老人性認知症患者の専門医療相談、鑑別診断等について継続して実施していく。

④優れたスタッフの確保

a) 優秀な医師の確保と医師の負担軽減

- ・ 高度専門医療等の水準を維持・向上させるため、大学等関係機関との連携の強化や教育研修の充実により、優秀な医師の育成、確保に努める。
- ・ 臨床研修医の受け入れについては、教育研修体制の充実を図り臨床研修医及びレジデント（専門分野の研修医をいう。）の受け入れに努める。
- ・ 医師の負担の軽減により、医師確保と定着化を促進するため、医師事務補助など医師を支援する職種の拡充等を図る。

b) 看護職及び医療技術職の専門性の向上

- ・ より質の高い看護を提供するため、計画的に認定看護師等の資格取得を促進する。

- ・ 薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の技術職について、研修等を充実し、専門技能の向上を図る。

⑤地域連携の推進

- ・ 庄内地域における中核的な医療機関としての役割を果たすとともに、他の医療機関との役割分担と連携を強化し、地域医療機関との紹介率・逆紹介率の向上等に取り組む。
- ・ 平成23年4月1日から稼動する「ちようかいネット」(日本海総合病院の電子カルテ情報(診療録、処方、注射、検査、画像、サマリーなど)を、インターネットを利用して地域内の病院、一般診療所、歯科診療所、薬局、介護・福祉施設などで閲覧できるように情報提供するとともに、ファイル化された診療情報を病院や診療所等の相互間で送受信できるシステム)に加入し、地域の医療施設と診療情報の共有化を図る。
- ・ がん、脳卒中、心筋梗塞などの地域連携クリティカルパスを作成し、「ちようかいネット」を活用した運用を行なう。
- ・ 地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関への患者情報の提供や、退院時カンファレンスの取組みの強化等により、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供ができるように努める。

⑥クリティカルパスの活用

- ・ 効果的な医療を提供し、患者負担の軽減にも寄与するため、電子カルテをベースとしたクリティカルパスの作成及び適用を進める。

⑦庄内地域における医療水準の向上

- ・ 地域の中核的な医療機関として、山形大学、東北大学、公立大学法人山形県立保健医療大学、県立病院などとの人材交流や研修を通して質の高い医療従事者の育成を推進し、庄内地域における医療水準の向上を進める。
- ・ 平成23年度から2年間、山形大学医学部先端分子疫学研究所の分室を日本海総合病院内に置き、文部科学省の「グローバルCOEネットワーク事業」として、地域の疫学研究を推進するため、調査活動、講演会等の開催等に協力する。

⑧住民の意識の啓発

- ・ 地域住民を対象としたセミナー、広報などを積極的に行い、住民の医療や健康に対する意識の啓発に努める。
- ・ 他の機関が行う地域の医療従事者や住民に対するセミナー等への講師派遣についても積極的に行う。

(3) 患者・住民サービスの一層の向上

- ・ 日本海総合病院への診療科の集約化に伴う、外来、検査、手術、会計等が集中されることから、外来診療システムの改善及び診療時間の弾力化、待ち時間の短縮等に取り組む。
- ・ 意見交換の場を設けること等により、患者・住民の目線に立ったサービスの向上の取組みを進める。
- ・ ホームページの充実による病院情報の発信力の強化を図る。
- ・ 日本海総合病院において平成20年度から実施した重症心身障がい児（者）短期入所事業については、在宅療養をされている重症心身障がい児（者）が家族の疾病等の理由により介護できない場合に日本海総合病院の空ベッドを利用して一時的に入所サービスの提供を行う事業であり、そのサービスの継続を図る。
- ・ 日本海総合病院の院内保育所を増築して、酒田市の病児・病後児保育事業を受託し、病児・病後児の「保育と看護」を医療隣接型で実施することにより、地域の子育て支援と児童の健康、安心の向上を図る。(平成23年9月頃開設予定)

(4) 施設整備等に関する住民への広報

- ・ 酒田医療センターの施設整備期間中における、入院案内、駐車場確保、出入口の変更等についても住民への広報を進めていく。

(5) 法令等の遵守と情報公開の推進

- ・ 法令等に基づき、医療従事者としての行動規範、倫理等について規則化し、所要の研修を行う。
- ・ インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ、レセプト等医療情報の情報開示については、山形県情報公開条例及び個人情報保護条例の適用のもとに、県の機関に準じて適切に対応する。

2 施設設備整備

(1) 統合再編に係る施設整備

酒田医療センターの増築・改修工事については、平成21年度に中期計画を変更したことにより、療養病床として整備を図るとともに、回復期リハビリテーション病棟、デイケア施設の整備する計画としている。平成22年度に基本・実施設計を行い、増築・改修工事の発注を行った。

平成23年度からは2年間の予定で増築、改修工事に着手する予定である。

◆酒田医療センターの施設整備予定内容

項 目	内 容
東棟改修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 70床の医療療養病床(2病棟) ・ 機能訓練室 ・ 事務室
回復期リハビリテーション病棟増築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 44床の回復期リハビリテーション病床 ・ デイケア施設 ・ 給食施設
エントランス棟	西棟の解体後に東棟と回復期リハ病棟をつなぐもの。

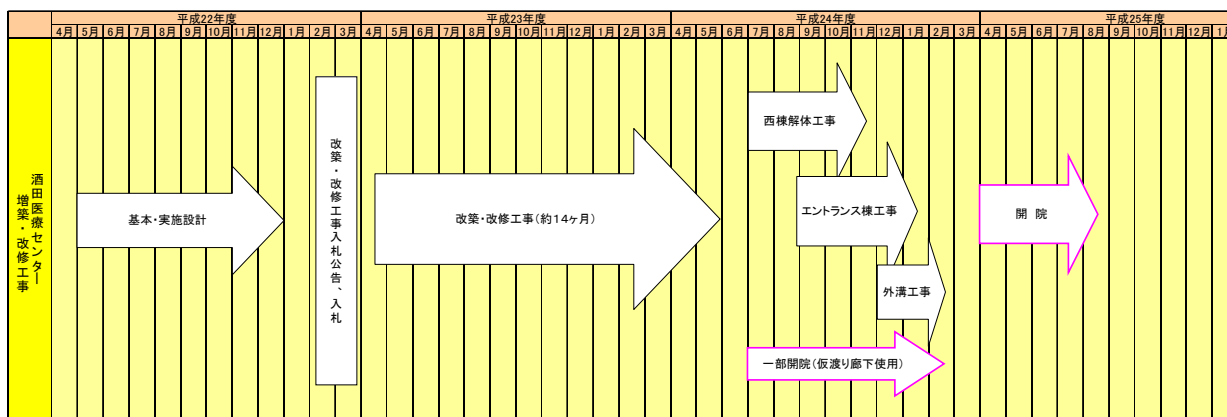
※ 西棟解体は東棟改修、回復期リハビリテーション病棟増築の完成後に実施予定。

<施設整備のスケジュール>

日本海総合病院酒田医療センター（予定）

- ・ 基本設計・実施設計：平成22年度
- ・ 工事期間：平成23年度から平成24年度

日本海総合病院、酒田医療センターの増築・改修工事のスケジュール



(2) 高度医療機器の計画的な更新・整備

- ・ 高度専門医療等の充実のため、平成23年度は以下のとおり高度医療機器の更新・整備を行う。
- ・ 高度医療機器の更新・整備に当たっては、稼働率や収支の予測を十分に行った上で進めるものとする。

<平成23年度の医療機器整備費（長期借入金対象）>

(単位：百万円)

病 院 名	事業費	主 な 内 容
日本海総合病院 酒田医療センター	255	ガンマカメラ、PET/CT関連機器
合 計	255	

【平成23年度における医療機器・施設整備に関する計画】

(単位：百万円)

区 分	予 定 額	財 源
資本支出		
建設改良費	1,866	設立団体からの
酒田医療センター増築・改修等	1,268	長期借入金、出
医療機器整備	302	資（出資債）等
その他（改修工事等）	296	

3 患者数の見込みと収支計画

平成23年度における患者数の見込みと予算、収支計画、資金計画については以下のとおりとする。

(1) 患者数の見込み (平成23年度)

(単位：人、%)

		平成23年度			平成22年度 (当初予算ベース)		
		日本海	酒田	合計	日本海	酒田	合計
入院	病床数	646	114	760	519	235	754
	1日当たり	565.0	96.0	661.0	504.2	145.4	649.6
	病床利用率	87.5	88.9	-----	86.4	80.1	-----
外来	1日当たり	1,360.0	2.0	1,362.0	1,126.2	251.2	1,377.4

(2) 予算 (平成23年度)

(単位：百万円)

区 分	日本海	酒田	合計
収入	17,390	2,270	19,660
営業収益	15,214	596	15,810
医業収益	14,683	578	15,261
運営負担金	531	18	549
営業外収益	971	236	1,207
運営費負担金	851	235	1,086
その他	120	1	121
資本収入	1,205	1,438	2,643
運営費負担金	905	165	1,070
長期借入金	299	498	797
その他(補助金等)	1	775	776

(単位：百万円)

区 分	日 本 海	酒 田	合 計
支 出	16,613	2,657	19,270
営業費用	13,861	1,062	14,923
医業費用	13,629	1,062	14,691
給与費	7,043	668	7,711
材料費	4,052	31	4,083
経費	2,465	355	2,820
資産減耗費	4	1	5
研究研修費	65	7	72
一般管理費	232	0	232
営業外費用	760	11	771
資本支出	1,980	1,583	3,563
建設改良費	583	1,283	1,866
長期借入金返還金	1,396	300	1,696
その他	1	0	1
その他の費用	12	1	13

(注1) 建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金等については、資本助成のための運営費負担金等とする。(以下、同じ)

(3) 収支計画 (平成23年度)

(単位：百万円)

区 分	日 本 海	酒 田	合 計
収入の部	16,185	832	17,017
営業収益	15,214	596	15,810
医業収益	14,683	578	15,261
運営費負担金収益	531	18	549
営業外収益	971	236	1,207
運営費負担金収益	851	235	1,086
その他医業外収益	120	1	121
その他の収入	0	0	0

支出の部	15,788	1,221	17,009
営業費用	15,016	1,209	16,225
医業費用	14,784	1,209	15,993
一般管理費	232	0	232
営業外費用	760	11	771
その他の費用	12	1	13
純利益	397	△389	8

(4) 資金計画（平成23年度）

（単位：百万円）

区 分	日 本 海	酒 田	合 計
資金収入	21,782	3,959	25,741
業務活動による収入	16,185	832	17,017
診療業務による収入	14,683	578	15,261
運営費負担金による収入	1,382	253	1,635
その他の業務活動による収入	120	1	121
投資活動による収入	905	165	1,070
運営費負担金による収入	905	165	1,070
財務活動による収入	300	1,273	1,573
長期借入による収入	299	498	797
補助金等による収入	1	775	776
前年度からの繰越金	4,392	1,689	6,081
資金支出	16,613	2,657	19,270
業務活動による支出	14,633	1,074	15,707
給与費支出	7,043	668	7,711
材料費支出	4,052	31	4,083
その他の業務活動による支出	3,538	375	3,913
投資活動による支出	584	1,283	1,867
有形固定資産の取得による支出	583	1,283	1,866
住宅借上による敷金支出	1	0	1
財務活動による支出	1,396	300	1,696
移行前地方債償還債務等の償還による支出	1,396	300	1,696
翌年度への繰越金	5,169	1,302	6,471

4 その他業務運営に関する事項

(1) 就労環境の整備

- ・日本海総合病院の院内保育所「あきほ保育園」については、24時間保育所の運営の継続と入園定員枠の再増員を図る。
- ・院内保育所「あきほ保育園」に別棟の増築を行い、酒田市の病児・病後児保育事業を受託することに伴い、職員の子育て支援の拡充を図る。
- ・日本海総合病院の職員駐車場については、患者動向等を勘案して再整備を検討する。

(2) 酒田市立酒田看護専門学校への支援

平成22年度から酒田市立看護学校として開校した「酒田看護専門学校」の教育部門を当法人が酒田市より業務委託を受けて実施しているが、今後とも酒田市と連携し当機構の看護職員を対象に看護教員としての育成に努める。